## 第13次労働災害防止推進計画の進捗状況 (全産業・令和3年4月)



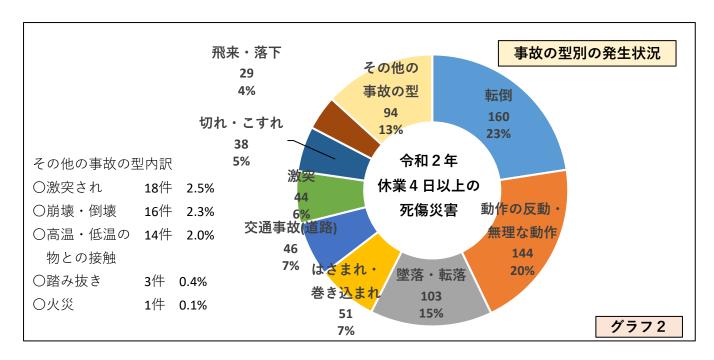
第13次労働災害防止推進計画は、令和4年までに平成29年の休業4日以上の死傷災害を5%減少させることを目標に各事業場において、災害防止の各種取組をお願いしています。平成29年の休業4日以上の死傷災害567件を令和4年に538件に減少させることを目標としています。

平成30年は604件,前年比37件増加(前年比6.5%増加),令和元年は577件,前年比27件減少(前年比4.5%減少)となり,令和2年は709件,前年比132件増加(前年比22.9%)となっています。(グラフ1)

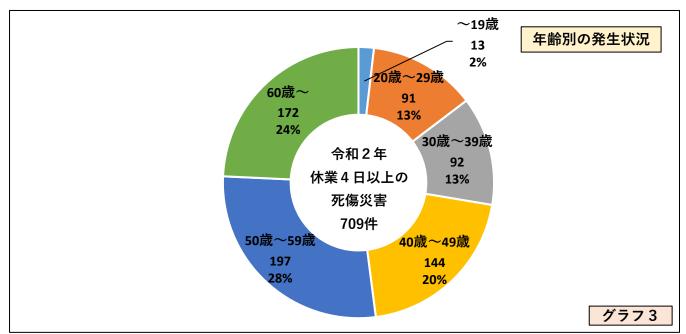
令和2年は、新型コロナウイルス感染症による報告31件を含みますが、大幅な増加となり、700件を超えるのは、平成8年の708件以来で、20年以上前の水準の災害発生件数となりました。

今後は、減少目標を見直し、令和3、4年に毎年12.9%の減少を図り、目標の達成を目指します。 事業場における安全衛生管理活動が3密を回避するなどの制約を受け、従前の取組ができない状況にある と思いますが、令和4年の目標値538件に向け、工夫をしていただいた取組が必要です。

業種別		第12次防 期間中の 死傷災害	平成29年 死傷者数 (基準年)	第 13 次 労 働 災 害 防 止 推 進 計 画								
				減少目標	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	令和4年
					目標値	確定値	目標値	確定値	目標値	暫定値	見直し 目標値 減少率	見直し 減少率
全産業 (対前年増減割合)		2,831	567	5%減少	561	604	555	577	550	709	618	538
					-1.0%	6.5%	-1.0%	-4.5%	-1.0%	22.9%	-12.9%	-12.9%
製造業	死亡災害	4	0	15%減少	0	0	0	0	0	0	0	0
	死傷災害	469	93	10%減少	91	105	89	90	87	86	84	83
建設業	死亡災害	3	0	15%減少	0	1	0	1	0	2	0	0
	死傷災害	357	60	10%減少	59	65	58	60	56	86	68	54
陸上貨物運送事業		255	63	5%減少	62	60	62	64	61	65	62	59
第三次産業	小売業	467	95	5%減少	94	103	93	81	92	122	105	90
	社会福祉	276	52	5%減少	51	63	51	60	50	108	73	49
	飲食店	177	41	5%減少	41	32	40	29	40	39	39	38



グラフ2の令和2年における事故の型別発生状況では、転倒は160件(23%・前年比42件増)と最も多く、次いで、動作の反動・無理な動作144件(20%・前年比36件増)、墜落・転落103件(15%・前年比1件増)の順となっています。この3つの事故の型の災害で、407件・57.4%となり、半数以上を占めています。加えて、転倒災害は35.6%の増加、「動作の反動・無理な動作」災害は33.3%の増加と前年に比べて増加率が顕著です。このため、転倒災害については、「STOP! 転倒災害プロジェクト」、動作の反動・無理な動作については、腰痛災害が主となりますので、「職場における腰痛予防対策指針」を参考に積極的な取組をお願いいたします。また、墜落・転落災害については、法令に基づく高所における墜落防止措置の徹底を講じてください。



グラフ3の令和2年における年齢別の死傷災害発生状況では、50歳代が197件(前年比52件増)と最も多く、次いで、60歳以上が172件(前年比28件増)、40歳代が144件(前年比5件増)の順となっています。40歳以上の被災者数は513件で、72.4%とほぼ災害件数の4分の3を占める状況となっており、50歳代で、対前年比35.9%増と増加率が顕著になっています。高年齢労働者が職場で活躍される状況も増えつつあることから、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を参考に高年齢労働者に配慮した職場環境、作業の改善を進めていただくことが重要です。